

三芳町行政評価制度報告書  
【令和5年度】

令和6年3月

## 目 次

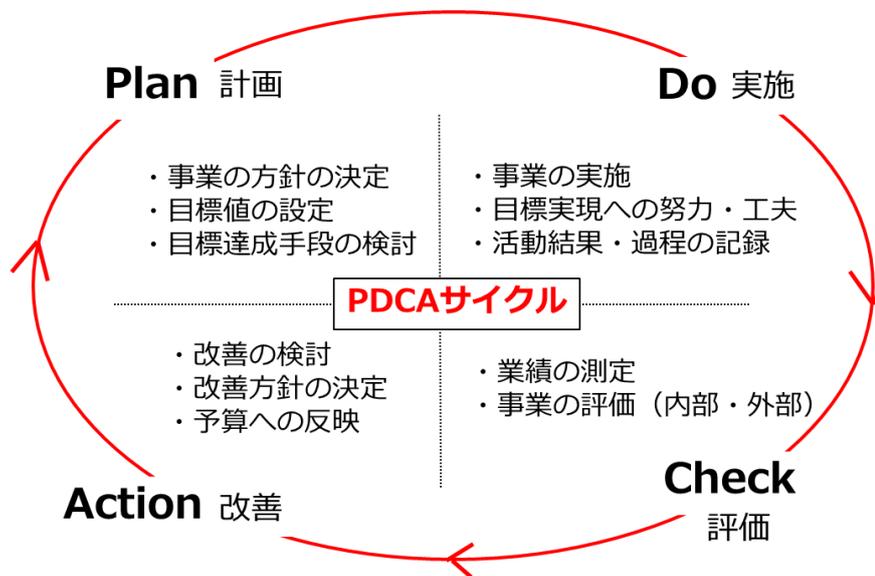
1	三芳町行政評価制度の概要	
(1)	行政評価制度について	2
(2)	三芳町行政評価制度について	2
(3)	内部評価	3
(4)	外部評価	4
2	内部評価結果	6
3	外部評価結果	
(1)	外部評価委員会の概要	16
(2)	評価結果	19
4	事業改善検討委員会結果	
(1)	事業改善検討委員会の概要	26
(2)	評価結果	27
5	令和6年度以降の行政評価制度実施指針	
(1)	改善意見聴取の方法	28
(2)	改善意見のまとめ	28
(3)	来年度以降に向けた改善検討内容	29
6	まとめ	30

## 1 三芳町行政評価制度の概要

### (1) 行政評価制度について

行政評価制度とは、町の事務事業を一定の基準や指標を用いて評価を行い事業の質や効率の向上を図り、事業改善や予算編成へ活用する手法である。町の政策体系に沿った施策や事務事業の目的、対象、意図を明確にすることを通じ、PDCA（Plan（計画）-Do（実施）-Check（評価）-Action（行動））の経営サイクルを図表1のように機能させ、効率・効果的な行政運営を目指すものである。

【図表1 PDCAサイクル】



### (2) 三芳町行政評価制度について

行政評価制度を通じて、PDCAサイクルの形成・定着化を図り、行政サービス水準の向上と質の高い行財政運営を実現するため、平成26年度より新たな行政評価制度の運用を開始した。また、平成28年度より開始した第5次総合計画では実施計画としての活用及び、行政改革のためのツールとして位置づけられている。

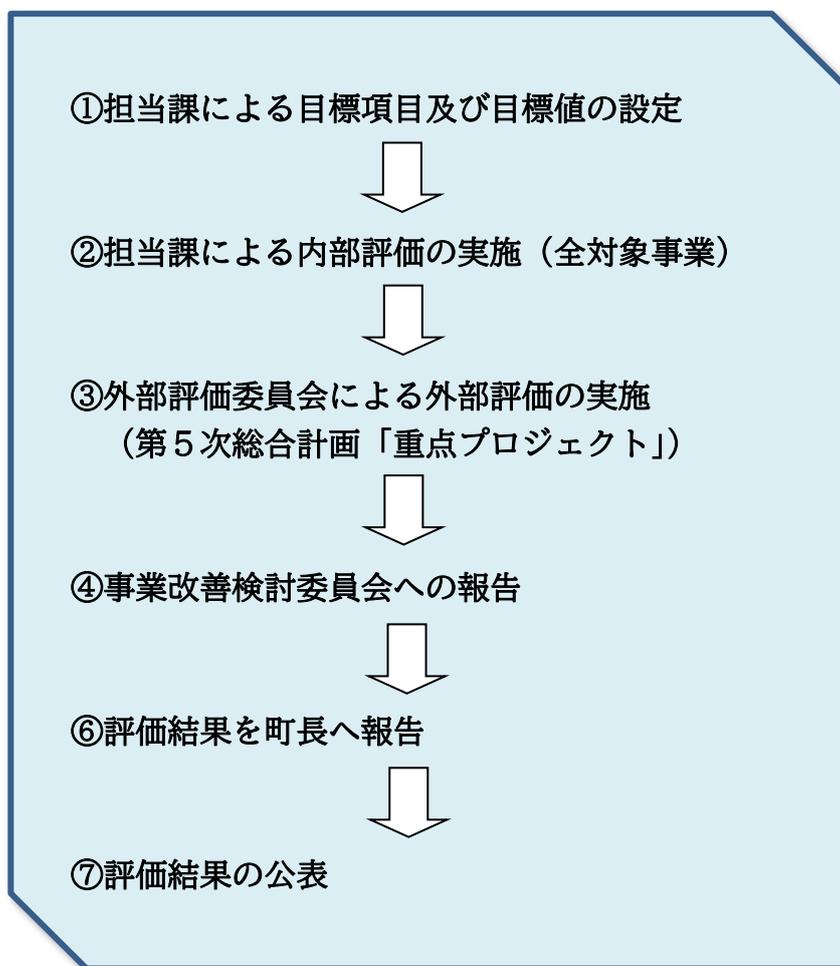
当町の行政評価制度では、職員による「内部評価」と、学識経験者及び住民で構成する外部評価委員会による「外部評価」を実施し、その結果を基に事業改善検討委員会で事業の方向性の検討を行う。内部評価のみ、外部評価のみで事業を判断しない仕組みが、当町の行政評価制度の特徴と言える。

令和5年度については、第5次総合計画の最終年度であることや、令和6年度以降、これまでの事務事業評価から施策評価へ移行することを見据えたトライアルの意味も含め、総合計画の5つの重点プロジェクトについて、外部評価委員会による総括評価を実施した。

令和5年度の具体的な評価の流れとしては、図表2のとおりとなるが、まず担当課で事務事業評価シートを作成し、その事業の指標となる目標項目と目標値の設定を行い、内部評価

を実施する。その後、第5次総合計画の重点プロジェクトについて、重点プロジェクト評価シートを基に、外部評価委員会による外部評価を実施する。その際、プロジェクトを構成する事務事業評価シートを評価の参考資料とする。全ての重点プロジェクトの評価結果を事業改善検討委員会に報告し、意見をもらった後、その結果を町長に報告し、結果の公表という流れとなる。

【図表 2 行政評価制度の評価の流れ】



### （3）内部評価

第5次総合計画実施計画の進捗管理に活用するため、総合計画に関わる事業（一般会計・特別会計・公営企業会計）はすべて事務事業評価シートを作成する。そのうち、図表3に示した事業等を除いた事業を対象とし、評価基準点数表を作成する。

以上の基準から、事務事業評価シート作成対象となる196の事務事業を、①目標項目の達成度から算出される評価点数による評価（40点満点）により評価を行う。また、評価基準点数表作成対象の153の事務事業は②評価基準点数表による点数評価（60点満点）を行い、①及び②の合算（100点満点）により評価するものである。【図表3～6参照】

#### (4) 外部評価

外部評価では、第5次総合計画の5つの重点プロジェクトについて評価を実施する。事務事業評価シートが作成された196の事務事業のうち第5次総合計画の各重点プロジェクトの構成事業については、各重点プロジェクトを評価する際の資料とした。

※外部評価委員会については、「3 外部評価委員会」の項を参照。

#### 【図表3 対象外とする事業基準】

##### ①政策的判断の余地の少ない又は裁量の余地がない法定受託事務等

法定受託事務や号令等に基づく事業は、政策的な判断で拡充や廃止できるものではないため、対象外。

- 例) 法定受託事務(戸籍事務、町議会議員選挙など)  
法令等に基づく事務(印鑑登録事務、住民基本台帳事務など)

##### ②基本的な事務に関する経費等

住民サービスの提供を伴わない内部的な事業などは、対象外。

- 例) 内部管理事務(会議録作成、人事管理など)

##### ③公債費、基金費などの経費

償還金などは経常的な義務的経費であるため、対象外。

##### ④教育委員会以外の行政委員会

行政委員会は、政治的中立性を確保する観点から首長から独立したものであり、予算額のほとんどが報酬であるため、対象外。

- ・選挙管理委員会 ・監査委員 ・固定資産評価審査委員会  
・公平委員会 ・農業委員会

##### ⑤条例設置の審議会等

審議会等の設置及び報酬に関しては、議会の議決事項であり、予算額のほとんどが報酬であるため、対象外。

- 例) 情報公開・個人情報保護審査会 町長等政治倫理審査会など

【図表 4 事務事業評価シート(表面)】

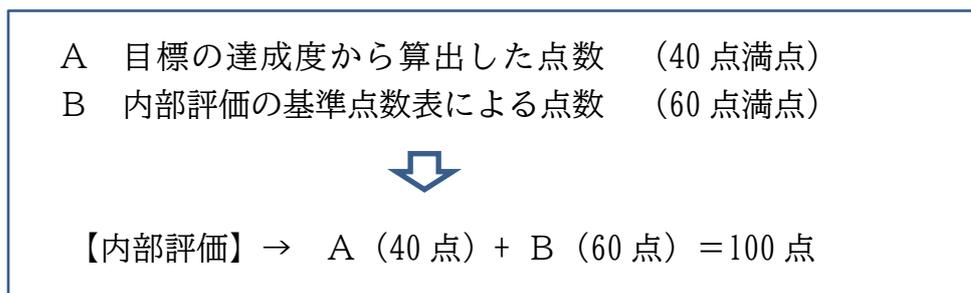
令和5年度事務事業評価シート			担当課	担当	記入者	事務の種類
事業名	根拠法		これまでの経緯(近年の改善の取組状況など)			
総合計画の位置づけ	基本項目	重点P				
	政策	町マニ				
	施策分野	公平性				
	施策	SDGs				
対象者	対象者のニーズ:					<b>●事業費(単位:千円)</b> 令和3年度決算額 令和4年度決算額(見込) 歳出合計 0 0 内訳 特定財源 一般財源 令和5年度予算額 歳出合計 0 内訳 特定財源 一般財源 補助金名 担当人数 人 人件費 0円
●事業概要		●事業目的				
事業目的達成のために実施した業務		業務概要		成果		R3 決算額 R4 決算見込 R5 予算額
目標項目		実績		目標		未達成の理由・課題等
単位		R3 R4 R5		R5		
目標						<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善・変更 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止
実績		#N/A #N/A		#N/A		
達成率		#N/A #N/A		#N/A		主管課方針 主管課意見
目標						
実績		#N/A #N/A		#N/A		
達成率		#N/A #N/A		#N/A		
目標						
実績		#N/A #N/A		#N/A		
達成率		#N/A #N/A		#N/A		
達成評価平均点数(達成度の平均×40%)				#VALUE!		

【図表 5 事務事業評価シート(裏面)評価基準点表含む】

評価要素	評価基準	基準説明	基準点数	
必要性	ニーズ等の把握	ニーズを的確に把握できているか。社会情勢の変化に対応しているか。		
	競合・統合の可能性	国・県又は民間による事業実施の状況や類似事業との統合の可能性を考えて必要な事業か。		
有効性	事業の効果	適切な指標設定を行い、事業の効果を高めるよう努めているか。		
	<b>目的・手段の合致性</b>	<b>事業の目的に沿った最良の手段や方法で事業を実施しているか。</b>		
	答責性・広報活動	住民への説明責任を果たしているか。適時効果的な方法で事業の周知がされているか。		
効率性	住民サービスの向上	住民満足度やサービスの向上に繋がる事業であるか。		
	計画的な実施	事業計画を策定するなど、事業が計画的に実施できているか。		
経済性	<b>費用対効果</b>	<b>事業経費は適切であり、予算額に見合う効果があるか。</b>		
	情報の収集	同種・同様の事業について、他自治体の取り組み等を探索し事業に活かしているか。		
取り組み姿勢	<b>コストの改善</b>	<b>事業実績を下げずにコスト削減ができている、または、コスト増を上回る成果を挙げているか。</b>		
	受益者負担の適正化	受益者負担の金額等が適正であるか。		
協働	先進性・挑戦性	他自治体と比較して先進的と言える取り組みをしているか。または、挑戦的な目標を掲げ、困難な課題に取り組んでいるか。		
環境負荷	協働の取組	事業に対し、住民が参画するシステムがあり、そのシステムを活用しているか。		
DX	環境への配慮	環境負荷の増大や環境保全を損なうことなく、環境に配慮出来ているか(例:ペーパーレス化、省エネ等。)		
	デジタル化	デジタル化を見据えた取組を行っているか、またデジタル・ディバイド(情報格差)に配慮した取組を行っているか。		
基準点合計			0	0

<b>【事業評価】</b> <table border="1"> <tr> <th>合計点数</th> <th>判定</th> </tr> <tr> <td>内部評価 A+B</td> <td>#####</td> </tr> <tr> <td>外部評価 A+C</td> <td>#####</td> </tr> </table>	合計点数	判定	内部評価 A+B	#####	外部評価 A+C	#####	<b>【外部評価委員評価】</b> <table border="1"> <tr> <td>調整理由</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全体意見等</td> <td></td> </tr> </table>	調整理由		全体意見等	
合計点数	判定										
内部評価 A+B	#####										
外部評価 A+C	#####										
調整理由											
全体意見等											
<b>事業改善検討委員会</b> <table border="1"> <tr> <td>審査担当</td> <td>#VALUE!</td> </tr> </table>	審査担当	#VALUE!									
審査担当	#VALUE!										
今後の方向性	【これまでの外部評価委員会の意見(抜粋)】										
	【事業改善検討委員会の意見】										

【図表 6 内部評価点数算出方法】



## 2 内部評価結果

今年度は令和4年度の事務事業を対象に196事業（このうち、目標達成度による評価対象事業は153事業）の内部評価を実施した。担当課により、目標達成度による評価点数（40点）、基準点数表による評価点数（60点）の100点満点で評価が行われた。ただし、図表3に示されるような事業は達成度評価点数の算出にとどめることとした。

達成度評価点の平均は196事業で34.8点となり、内部評価基準点の平均点は153事業で44.8点となった。達成度・評価基準点の両評価を行った153事業の評価結果は、49点以下の事業は全体の3.9%（6事業）、50点以上74点以下の事業は全体の16.9%（26事業）、75点以上の事業は全体の79%（121事業）、平均点78.91点（昨年度平均77.2点）という評価であった。

各事業の評価結果は次頁以降の図表7のとおりである。

【図表 7 内部評価結果一覧】

番号	事務事業名	課名	目標達成度による評価点数	基準点数表による評価点数	合計	備考
1	議会広報	議会事務局	32	43	75	
2	職員研修	総務課	40		40	
3	情報公開・個人情報推進事業	総務課	40		40	
4	公文書適正管理事業	総務課	40		40	
5	国際交流事業	秘書広報室	34	44	78	
6	広報事務	秘書広報室	30	47	77	
7	財政事務事業	財政デジタル推進課	40		40	行財政基盤強化プロジェクト
8	藤久保地域拠点整備事業	施設マネジメント課	40	51	91	

9	政策立案推進事業	政策推進室	11	41	52	
10	広域行政事務	政策推進室	20	33	53	
11	行政改革推進事業	政策推進室	40	39	79	行財政基盤強化プロジェクト
12	ふるさと納税推進事業	政策推進室	38	45	83	行財政基盤強化プロジェクト
13	地方創生推進事業	政策推進室	26	46	72	
14	みよし SDGs 推進事業	政策推進室	40	48	88	
15	総合計画策定業務	政策推進室	32	44	76	
16	情報セキュリティ対策事業	財政デジタル推進課	40		40	
17	行政連絡区支援事業	自治安心課	34	45	79	
18	集会所整備事業	自治安心課	32	43	75	
19	集会所等維持管理事業	自治安心課	32	43	75	
20	駅前放置自転車対策事業	自治安心課	40	40	80	
21	交通指導員事業	自治安心課	21	45	66	
22	交通安全啓発事業	自治安心課	36	42	78	
23	交通災害共済事業	自治安心課	37		37	
24	交通安全施設整備事業	道路交通課	40	54	94	
25	地域交通改善対策事業	政策推進室	35	40	75	
26	防災啓発及び研修事業	自治安心課	26	44	70	
27	防災設備等維持管理事業	自治安心課	40	42	82	
28	国民保護事業	自治安心課	40		40	
29	協働のまちづくり推進事業	自治安心課	22	47	69	
30	みよしまつり補助事業	自治安心課	20	44	64	

31	コミュニティ活動促進事業	自治安心課	40	44	84	
32	防犯灯設置管理事業	道路交通課	35	53	88	
33	防犯活動推進事業	自治安心課	35	43	78	
34	人権啓発事業	総務課	40	41	81	
35	住民相談事業	総務課	40	50	90	
36	外国人生活支援事業	総務課	40	39	79	
37	男女共同参画社会促進事業	総務課	39	48	87	
38	女性相談事業	総務課	40	37	77	
39	生涯スポーツ活動促進事業	文化・スポーツ推進課	40	44	84	
40	学校体育施設開放事業	文化・スポーツ推進課	38	44	82	
41	体育指導者養成事業	文化・スポーツ推進課	40	46	86	
42	スポーツ活動補助事業	文化・スポーツ推進課	28	47	75	
43	ホストタウン交流事業	文化・スポーツ推進課	40		40	
44	芸術文化推進事業	文化・スポーツ推進課	33	48	81	
45	文化施設整備等事業	文化・スポーツ推進課	33		33	
46	二十歳の集い事業	文化・スポーツ推進課	40	49	89	
47	体育施設整備等事業	文化・スポーツ推進課	34		34	
48	体育施設等指定管理事業	文化・スポーツ推進課	37		37	
49	町税徴収事務事業	税務課	40		40	
50	通知カード・個人番号カード関連事務	住民課	40		40	

51	監査業務	総務課	40		40	
52	入間東部福祉会業務	福祉課	40		40	
53	更生保護事業	福祉課	27		27	
54	社会福祉協議会補助事業	福祉課	40		40	
55	共生社会推進事業	福祉課	7	50	57	
56	障がい者自立支援事業	福祉課	39		39	
57	障がい者在宅援護事業	福祉課	33	44	77	
58	障がい者施設援護事業	福祉課	40		40	
59	障がい者手当事業	福祉課	38	45	83	
60	相談支援事業	福祉課	25	45	70	
61	コミュニケーション支援養成事業	福祉課	21	54	75	
62	手話通訳者等派遣事業	福祉課	40	55	95	
63	障がい者地域生活支援事業	福祉課	40	53	93	
64	障がい者就労支援センター事業	福祉課	35		35	
65	重度心身障害者医療費助成事業	福祉課	40		40	
66	精神保健福祉事業	福祉課	31	45	76	
67	後期高齢者医療支援事業	住民課	38		38	行財政基盤強化プロジェクト 健康長寿プロジェクト
68	老人施設入所措置事業	福祉課	40		40	
69	介護手当支給事業	福祉課	40	46	86	
70	敬老祝金支給事業	福祉課	37	45	82	
71	高齢者健康生きがい事業	福祉課	40	48	88	

72	高齢者緊急時保護事業	福祉課	40		40	
73	在宅福祉支援事業	福祉課	39	47	86	
74	老人クラブ活動支援事業	福祉課	39	47	86	
75	シルバー人材センター支援事業	福祉課	35		35	
76	ふれあいセンター運営事業	福祉課	31	52	83	
77	介護保険利用者負担助成	健康増進課	0	41	41	
78	子ども家庭総合支援事業	こども支援課	40	52	92	
79	こども医療費支給事業	こども支援課	39	55	94	
80	認可保育所等児童委託事業	こども支援課	40	49	89	子育て支援プロジェクト
81	家庭保育室等利用支援事業	こども支援課	0	48	48	
82	ひとり親家庭等医療費支給事業	こども支援課	40	51	91	
83	公立保育所管理運営事業	こども支援課	40	50	90	子育て支援プロジェクト
84	民間保育所等支援事業	こども支援課	27	51	78	子育て支援プロジェクト
85	学童保育室管理運営事業	こども支援課	40	52	92	子育て支援プロジェクト
86	児童館管理運営事業	こども支援課	40	44	84	子育て支援プロジェクト
87	みどり学園運営事業	こども支援課	40	42	82	
88	子育て支援センター管理運営事業	こども支援課	29	44	73	子育て支援プロジェクト
89	ファミリー・サポート・センター運営事業	こども支援課	19	45	64	子育て支援プロジェクト
90	健康増進事業	健康増進課	38	40	78	健康長寿プロジェクト

91	母子保健事業	健康増進課	39	45	84	子育て支援 プロジェクト
92	がん検診事業	健康増進課	32	44	76	健康長寿 プロジェクト
93	地域医療確保事業	健康増進課	40	45	85	健康長寿 プロジェクト
94	熱中症予防対策事業	健康増進課	40	40	80	
95	予防接種事業	健康増進課	40	50	90	
96	狂犬病予防推進事業	環境課	38	40	78	
97	葬斎場事業	環境課	40		40	
98	エコ団体支援事業	環境課	40		40	
99	地球温暖化対策推進事業	環境課	35	40	75	
100	環境美化推進事業	環境課	35	38	73	
101	環境調査事業	環境課	20	39	59	
102	廃棄物対策事業	環境課	39	37	76	
103	一般廃棄物収集運搬事業	環境課	40		40	
104	ごみ処理施設維持管理事業	環境課	40	38	78	
105	ごみ処理事務委託事業	環境課	40		40	
106	し尿処理事業	環境課	40		40	
107	勤労者住宅資金融資斡旋事業	観光産業課	10	35	45	
108	産業祭事業	観光産業課	3	45	48	
109	農業支援事業	観光産業課	35	54	89	緑地保全・活用 プロジェクト
110	畜産支援事業	観光産業課	38	47	85	
111	農業センター施設管理事業	観光産業課	26		26	

112	観光推進事業	観光産業課	36	41	77	緑地保全・活用プロジェクト
113	商店街支援事業	観光産業課	40	40	80	
114	中小企業融資斡旋事業	観光産業課	17	39	56	
115	消費生活啓発事業	観光産業課	36	46	82	
116	道路施設管理事業	道路交通課	23	51	74	
117	道路施設維持補修事業	道路交通課	40	54	94	西の玄関口プロジェクト
118	街路樹管理事業	道路交通課	10	49	59	
119	橋梁長寿命化修繕事業	道路交通課	40	45	85	
120	道路改良事業	道路交通課	40	50	90	西の玄関口プロジェクト
121	スマート I C 利便性向上促進事業	道路交通課	38	46	84	行財政基盤強化プロジェクト 西の玄関口プロジェクト
122	河川管理事業	道路交通課	20	48	68	
123	建築物耐震改修促進事業	都市計画課	30	36	66	
124	竹間沢通西地区土地区画整理準備支援事業	都市計画課	40		40	
125	一般下水道施設管理	上下水道課	20	48	68	
126	公園等施設管理・整備事業	都市計画課	40	45	85	
127	令和の森公園施設管理・整備事業	都市計画課	40	45	85	
128	緑地保全事業	環境課	40	37	77	緑地保全・活用プロジェクト
129	緑化推進事業	環境課	28	38	66	緑地保全・活用プロジェクト
130	緑のトラスト保全第 1 4 号地活用事業	環境課	0	38	38	緑地保全・活用プロジェクト
131	常備消防事業	自治安心課	31		31	

132	非常備消防事業	自治安心課	21		21	
133	国際交流事業	学校教育課	19	41	60	子育て支援 プロジェクト
134	生徒支援事業	学校教育課	36	44	80	
135	小中学校教育用コンピュータ維持管理事業	学校教育課	40	42	82	子育て支援 プロジェクト
136	英語指導助手配置事業	学校教育課	40	42	82	
137	みらいのぞみ学校創造支援事業	学校教育課	40	36	76	子育て支援 プロジェクト
138	コミュニティ・スクール推進体制構築事業	学校教育課	40	41	81	子育て支援 プロジェクト
139	教育相談室・教育支援室運営事業	学校教育課	18	42	60	子育て支援 プロジェクト
140	就学支援事業	学校教育課	40	44	84	子育て支援 プロジェクト
141	人権教育総合推進地域事業	学校教育課	40	40	80	
142	小学校施設管理事業	教育総務課	39	43	82	
143	小学校施設整備事業	教育総務課	40	42	82	
144	小学校備品整備事業	教育総務課	39	39	78	
145	小学校活動運営支援事業	学校教育課	40		40	
146	三芳町立小学校支援員配置事業	学校教育課	38	40	78	
147	小学校図書館運営事業	学校教育課	39	44	83	
148	小学校 I C T 機器維持管理事業	学校教育課	40	47	87	子育て支援 プロジェクト
149	小学校運営	学校教育課	40	53	93	
150	小学校図書館図書整備事業	教育総務課	39	43	82	
151	小学校教材備品整備事業	教育総務課	40	40	80	

152	就学援助事業	学校教育課	33	50	83	
153	中学校施設管理事業	教育総務課	38	43	81	
154	中学校施設整備事業	教育総務課	40	42	82	
155	中学校備品整備事業	教育総務課	39	39	78	
156	中学校活動運営支援事業	学校教育課	40		40	
157	三芳町立中学校支援員配置事業	学校教育課	38	40	78	
158	中学校図書館運営事業	学校教育課	40	44	84	
159	中学校 I C T 機器維持管理事業	学校教育課	40	48	88	子育て支援プロジェクト
160	中学校運営	学校教育課	39	53	92	
161	中学校図書館図書整備事業	教育総務課	40	43	83	
162	中学校教材備品整備事業	教育総務課	40	40	80	
163	就学援助事業	学校教育課	36	50	86	
164	社会教育推進事業	社会教育課	40	52	92	
165	家庭教育・子育て支援事業	社会教育課	40	51	91	子育て支援プロジェクト
166	青少年健全育成事業	社会教育課	33	52	85	
167	人権教育・啓発推進事業	社会教育課	40	51	91	
168	文化財保護事業	文化財保護課	35	47	82	
169	埋蔵文化財調査事業	文化財保護課	40	53	93	
170	図書館管理運営事業	社会教育課	33	40	73	
171	図書館資料整備事業	社会教育課	34	41	75	子育て支援プロジェクト
172	図書の普及活動事業	社会教育課	38	45	83	子育て支援プロジェクト

173	資料館管理運営事業	文化財保護課	40	53	93	
174	資料館教育普及事業	文化財保護課	40	54	94	
175	旧島田家住宅事業	文化財保護課	35	56	91	
176	学校給食センター管理事業	教育総務課	40	0	40	健康長寿プロジェクト
177	趣旨普及費	住民課	40	46	86	行財政基盤強化プロジェクト
178	特定健康診査等事業費	住民課	28	44	72	
179	保健衛生普及費	住民課	37	47	84	
180	保養所設置費	住民課	23	35	58	
181	趣旨普及業務	健康増進課	40		40	
182	一般介護予防事業費	健康増進課	40	50	90	健康長寿プロジェクト
183	包括的支援事業費	健康増進課	40		40	健康長寿プロジェクト
184	生活支援体制整備事業	健康増進課	27		27	健康長寿プロジェクト
185	在宅医療・介護連携推進事業	健康増進課	40	47	87	健康長寿プロジェクト
186	認知症施策推進事業	健康増進課	35	47	82	健康長寿プロジェクト
187	介護相談	健康増進課	21	43	64	健康長寿プロジェクト
188	家族介護支援事業	健康増進課	40	44	84	健康長寿プロジェクト
189	成年後見制度	健康増進課	40		40	
190	認知症サポーター養成講座事業	健康増進課	39		39	健康長寿プロジェクト
191	健康診査等事業費	住民課	37		37	
192	配水及び給水費	上下水道課	40	47	87	
193	配水管布設工事費	上下水道課	40	48	88	

194	管渠費	上下水道課	40	46	86	
195	ポンプ場費	上下水道課	40	47	87	
196	公共下水道建設事業費	上下水道課	40	46	86	

### 3 外部評価結果

#### (1) 外部評価委員会の概要

##### ① 外部評価委員会について

外部評価委員会とは学識経験者、公募住民で構成される三芳町行政評価外部評価委員会であり、行政評価制度の客観性や透明性を確保し住民目線での評価を実施するため設置された委員会である。

##### ② 外部評価委員会の構成

今年度の外部評価委員会は、図表 8 に掲載されている学識経験者 3 名、公募住民 3 名の合計 6 名の委員で構成した。【三芳町行政評価実施要綱第 8 条】

【図表 8 外部評価委員会委員】

役 職	氏 名	委員区分	備 考
委員長	石川 久	学識経験者	元・淑徳大学 コミュニティ政策学部 コミュニティ政策学科教授
副委員長	長滝 亜貴子	公募住民	
委 員	吉村 豪	公募住民	
委 員	鈴木 完幸	公募住民	
委 員	菅原 優輔	学識経験者	(一財)地域開発研究所 客員研究員
委 員	石澤 香哉子	学識経験者	(一財)地域開発研究所 研究員

##### ③ 外部評価委員会の所掌事務

所掌事務は、外部評価基準点数表による評価であり、行政評価制度の改善について意見することも、所掌事務となっている。【三芳町行政評価実施要綱第 7 条】

##### ④ 外部評価対象事業

第 5 次総合計画の重点プロジェクトを外部評価の対象とし、それぞれの構成事務事業の事務事業評価シートを重点プロジェクト評価の資料とした。

【図表 9 外部評価対象事業（重点プロジェクト及び構成事務事業）一覧】

No.	事業名	担当課名
1	行財政基盤強化プロジェクト	政策推進室
	財政事務事業	財政デジタル推進課
	行政改革推進事業	政策推進室
	ふるさと納税推進事業	//
	趣旨普及費	住民課
	後期高齢者医療支援事業	//
	スマートIC利便性向上促進事業	道路交通課
2	西の玄関口プロジェクト	道路交通課
	スマートIC利便性向上促進事業	//
	道路維持補修事業	//
	道路改良事業	//
3	緑の保全・活用プロジェクト	観光産業化
	緑化推進事業	環境課
	緑地保全事業	//
	緑のトラスト保全第14号地活用事業	//
	観光推進事業	観光産業化
	農業支援事業	//
4	健康長寿プロジェクト	健康増進課
	後期高齢者医療支援事業	住民課
	健康増進事業	健康増進課
	がん検診事業	//
	地域医療確保事業	//
	一般介護予防事業	//
	包括的支援事業	//
	生活支援体制整備事業	//
	在宅医療・介護連携推進事業	//
	認知症施策推進事業	//
	介護相談事業	//
	家族介護支援事業	//
	認知症サポーター養成講座事業	//
	学校給食センター管理事業	教育総務課
	5	子育て支援プロジェクト
児童館管理運営事業		こども支援課
ファミリーサポートセンター運営事業		//
学童保育室管理運営事業		//

5	公立保育所管理運営事業	//
	こども支援センター管理運営事業	//
	認可保育所等児童委託事業	//
	民間保育所等支援事業	//
	母子保健事業	健康増進課
	国際交流事業	学校教育課
	小中学校教育用コンピュータ維持管理事業	//
	みらいのぞみ学校創造支援事業	//
	コミュニティスクール推進体制構築事業	//
	教育相談員・教育支援室運営事業	//
	就学支援事業	//
	小学校 ICT 機器維持管理事業	//
	中学校 ICT 機器維持管理事業	//
	家庭教育・子育て支援事業	社会教育課
	図書館の普及活動事業	図書館
図書館資料整備事業	//	

#### ⑤ 委員会日程

今年度は全 8 回の委員会を開催した。各回の概要は図表 10 のとおりである。

【図表 10 外部評価委員会実施日程】

	開催日	審議内容
第 1 回	令和 5 年 7 月 27 日 (木)	・令和 4 年度行政評価外部評価対象事業の予算反映状況報告、事業改善検討委員会対象事業の対応状況報告 ・令和 5 年度外部評価の進め方 ・今後のスケジュール
第 2 回	令和 5 年 8 月 10 日 (木)	・令和 5 年度外部評価の実施 重点プロジェクト (行財政基盤強化)
第 3 回	令和 5 年 9 月 1 日 (金)	・令和 5 年度外部評価の実施 重点プロジェクト (西の玄関口)
第 4 回	令和 5 年 9 月 13 日 (水)	・令和 5 年度外部評価の実施 重点プロジェクト (緑の活用・保全)
第 5 回	令和 5 年 9 月 27 日 (水)	・令和 5 年度外部評価の実施 重点プロジェクト (健康長寿)
第 6 回	令和 5 年 10 月 17 日 (火)	・令和 5 年度外部評価の実施 重点プロジェクト (子育て支援)

第7回	令和5年 11月7日（火）	・令和5年度外部評価の実施 重点プロジェクト（子育て支援）※追加分
第8回	令和6年 2月21日（水）	・重点プロジェクト評価の結果共有 ・事業改善検討委員会への報告内容の確認 ・令和6年度外部評価に向けた協議

## ⑥ 外部評価の流れ

第1回委員会で、令和4年度行政評価外部評価対象事業の予算反映状況及び事業改善検討委員会対象事業の対応状況の報告を行った。また、令和5年の外部評価の進め方を説明、確認した。

第2～7回委員会で、重点プロジェクト評価シートをもとに、構成事務事業の担当課へのヒアリングを行い、外部評価を実施した。

第8回委員会で、事業改善検討委員会への報告内容について確認を行った。また、令和6年度の外部評価の進め方について協議した。

## ⑦ 総括評価

委員会において、重点プロジェクト評価シート、事務事業評価シート及びヒアリングを基に、図表11の基準により達成度を評価し、その平均を委員会の評価結果とした。

【図表11 外部評価達成状況評価表】

A	順調
B	概ね順調
C	遅れている（一部未達成）
D	見直しが必要

## (2) 評価結果

### ① 外部評価委員会における各事業の評価

第2回～第7回外部評価委員会における外部評価委員の達成度評価及び主な意見は図表12のとおりである。

【図表12 外部評価各事業結果一覧】

No.	重点プロジェクト	担当課名
1	行財政基盤強化プロジェクト	政策推進室
構成事務事業		
1	財政事務事業	財政デジタル推進課
2	行政改革推進事業	政策推進室

3	ふるさと納税推進事業					//	
4	趣旨普及費					住民課	
5	後期高齢者医療支援事業					//	
6	スマート I C 利便性向上促進事業					道路交通課	
評価日	第 2 回 (令和 5 年 8 月 10 日)						
評価結果	委員 1	委員 2	委員 3	委員 4	委員 5	委員 6	総合評価
	B	B	A	B	A	—	B
外部評価委員会での主な意見							
【達成状況に対する意見】							
● 成果指標の経常収支比率及び財政調整基金残高はどちらも改善、目標達成しており、個々の事業についても安定的に進行している点は順調であると評価できる。							
● 一方で、数値の改善について、新型コロナウイルスによる事業の中止が大きな要因となっており、こういった外部環境の変化による影響での成果を、単純に順調と評価することに疑問が残る。(評価することが難しい)							
【プロジェクト全体への意見】							
● 指標が不十分。“行財政”基盤となっているが、指標は“財政”基盤がメインとなっている。また、経常収支比率もそれ単体ではなく、歳入増、歳出減の取り組みとして実施した成果を指標とすべき。							
● プロジェクトに関連する事業が不足していると感じる。町全体を見据えて関連施策を設定することが必要。							
【構成事業に対する意見】							
(趣旨普及費)							
● パンフレットの作成において、ただ配布するのではなく、各自治体の特色として読んでもらえる工夫が必要。多い病気や医薬品の違い等、役立つ情報を掲載してみてもどうか。							
(ふるさと納税推進事業)							
● 町で必要な事業のために、どの程度の納税が必要なのか示した方が誠実だと思う。また、それを踏まえて目標額を設定してはどうか。							

No.	重点プロジェクト					担当課名	
2	西の玄関口プロジェクト					道路交通課	
構成事務事業							
1	スマート I C 利便性向上促進事業					道路交通課	
2	道路維持補修事業					//	
3	道路改良事業					//	
評価日	第 3 回 (令和 5 年 9 月 1 日)						
評価結果	委員 1	委員 2	委員 3	委員 4	委員 5	委員 6	総合評価
	C	B	C	B	D	D	C

外部評価委員会での主な意見

【達成状況に対する意見】

- 三芳スマートICのフル化整備については概ね順調であると評価できるが、周辺道路の整備についてはまだ十分とは言えない。本来は、フル化の供用開始に間に合うような整備が必要であったはずで、遅れていると判断した。
- 新たな商業拠点の創出については、構想段階となっており、住民への周知や合意形成も図られていない事から遅れている、もしくは見直しが必要だと判断した。

【プロジェクト全体への意見】

- 事業全体の遅れをリカバリーすることは難しいので、今後は新たな商業拠点の見直しを含め、説明、広報、住民の参画をしっかりと行いながら、丁寧に事業を進めてほしい。
- フル化、企業誘致、拠点の創出、どの事業においても、住民のメリットや理解を大事にしてほしい。“町”は住民との近さが特徴。それを活かしたプロジェクト運営ができると良い。

【構成事業に対する意見】

(スマートIC 利便性向上事業)

- スマートICフル化についての住民への情報提供、広報が足りていない。進捗状況などの情報はどんどん出して住民と共有しなければならない。
- 供用開始に伴う安全対策や標識の設置など、まだ不十分であり、引き続き検討する必要がある。
- 警察から交通事故件数などを聞いて把握することで、完全性の確保の指標となるのでは。
- 企業誘致は、“事業者次第”という受け身の姿勢であるため、課をまたいで攻めの姿勢で進めてほしい。企業が主導になって、町がグリップを取れないというのは良くないので、町として土地利用を含めて管理の形を作る事が大事ではないか。
- 税収アップ以外に、住民にも親しみがもてる企業の誘致をしてほしい。子育て支援を絡めてはどうか。
- 上里SAは、ETC2.0を搭載していると、外に出てもカウントされず戻れるので、それを併用しては。
- 防災拠点は、少年自然の家のような宿泊施設としても検討してほしい。農業遺産関係の見学など県外からのオファーもあるのでは。

No.	重点プロジェクト	担当課名
3	緑の保全・活用プロジェクト	観光産業課
構成事務事業		
1	緑化推進事業	環境課
2	緑地保全事業	//
3	緑のトラスト保全第14号地活用事業	//
4	観光推進事業	観光産業化
5	農業支援事業	//

評価日	第4回（令和5年9月13日）						
評価結果	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	総合評価
	C	D	A	C	B	C	C
外部評価委員会での主な意見							
<p>【達成状況に対する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●各事業について順調に遂行できていることは評価できる。しかし、イベント系など、コロナ禍における活動制限があったため、成果指標が未達成となったことは仕方のない事だとも思うが、そのような中でも、オンライン等の活用や、これまでの取組の分析など、もっとできることがあったように思う。</li> <li>●ブランド化については、町が積極的にブランド化しようとしているように見えず、評価指標もないが、遅れていると評価せざるを得ない。</li> </ul> <p>【プロジェクト全体への意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●このプロジェクトやブランド化により、町や住民にどのような効果があるのか、町をどのようにしていきたいのか、最終的なイメージが不足している。</li> <li>●対象となる自然、活用の範囲など整理が必要である。</li> <li>●ブランドの浸透率、補助制度や各事業の認知度などを測る指標が無い事は、問題だと感じる。</li> <li>●課の横の繋がりが見えてこない。環境課と観光産業課だけでなく、他にも関わるべき課があって、横断して目標達成すべきであり、そのような部分は見直しが必要であると感じる。</li> </ul> <p>【構成事業に対する意見】</p> <p>（観光推進事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●戦略性が足りていない。個人が頑張っていて、その方が辞めたら無くなってしまうような状況ではなく、町として戦略的かつ安定的にやることが重要。</li> <li>●田舎と同じような観光政策ではなく、“都市近郊型の農業農村地帯としてのビジョン”をしっかりと作り、そこを目指して事業を推進すべき。</li> <li>●観光資源や観光拠点を、町が積極的にブランド化しようとしているように見えないのが残念である。</li> </ul> <p>（緑のトラスト14号地活用事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ボランティアリーダーを育成しようという中で、体験事業の回数や規模が小さいと感じる。</li> <li>●今後、グリーンサポート隊（専門的な知識を持った人）を育成し、その方たちが中心となり、町民に対する啓発活動や緑の活用等を推進していけるよう事業を進めてほしい。</li> </ul> <p>（緑化推進事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●苗木をただ配布するのではなく、その後のフォロー（専門家への相談等）があればより緑化推進は成功するのではないかと。</li> <li>●子どもの緑との触れ合いやゼロカーボンシティを進めるにあたり、各課と連携して、公園や学校の緑化を進めて、環境課で各課の事業結果の取りまとめのような形がとれると良い。</li> </ul>							

No.	重点プロジェクト	担当課名					
4	健康長寿プロジェクト	健康増進課					
構成事務事業							
1	後期高齢者医療支援事業	住民課					
2	健康増進事業	健康増進課					
3	がん検診事業	//					
4	地域医療確保事業	//					
5	一般介護予防事業	//					
6	包括的支援事業	//					
7	生活支援体制整備事業	//					
8	在宅医療・介護連携推進事業	//					
9	認知症施策推進事業	//					
10	介護相談事業	//					
11	家族介護支援事業	//					
12	認知症サポーター養成講座事業	//					
13	学校給食センター管理事業	教育総務課					
評価日	第5回（令和5年9月27日）						
評価結果	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	総合評価
	C	C	A	C	C	C	C
外部評価委員会での主な意見							
<p>【達成状況に対する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●指標全体に「未達成」が多い事から、遅れていると判断した。</li> <li>●「重点プロジェクトで目指す姿」が曖昧で、最終的な目標がはっきりとイメージされていない うえ、実績を把握できる指標も乏しいため、そもそもプロジェクト全体が順調に進んでいる のかの判断が難しい。</li> </ul> <p>【プロジェクト全体への意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●“健康長寿”とは何か、町がどのようなスタンスで町民と向き合うのか考える必要がある。</li> <li>●対象者を分けて考えた方が良い。（例えば、国保と社保を分けて考えるなど。）</li> <li>●各課間でデータを共有し、活用する方法を考えてほしい。（例えば、死亡届の死因や社会保険加入者の受診情報など）</li> <li>●4年に1度の住民意識調査だけでなく、各課が個別でやるアンケートなどに共通の質問項目を入れて年度ごとに調査できるよう工夫が必要。</li> </ul> <p>【構成事業に対する意見】</p> <p>（健康増進事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者か子どもかの二極化になっている。間の世代の健康増進のためのアピールや広報の仕方をもっと工夫してほしい。</li> </ul> <p>（一般介護予防事業）</p>							

●65 歳以上の高齢者を一括りにするのではなく、65 歳、70 歳、75 歳以上などの年齢や属性によってターゲティングして事業を推進してほしい。

●情報はたくさん提供し、住民に「選択してもらう」ことが大事。

(地域医療確保事業)

●町の充実した医療体制が住民に周知されておらず、満足度に繋がっていないのは残念。周知方法を検討、拡大してほしい。

●現状の指標で充実度を諮るのは難しい。町の医療体制の充実度を諮れる指標(例えば、救急搬送件数や救急病院までの距離、実際の病院への到着時間などで客観的に評価できる可能性がある)を検討してほしい。

(給食センター管理事業)

●食育は、子どもだけでなく親にこそ必要。親が食育に興味があれば、子どもへの食育は限定的になる。夏休みに子どもが痩せてしまうという話もある。特に壮年世代への食育を検討してほしい。

●事業内容が、「安全・安心な給食の提供についての検証」がメインのように感じた。食育は生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けられるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することが出来る人間を育てるもの、である。(農林水産省 HP より)児童・生徒に対する教育的側面から検討する必要がある。

No.	重点プロジェクト	担当課名
5	子育て支援プロジェクト	こども支援課
構成事務事業		
1	児童館管理運営事業	こども支援課
2	ファミリーサポートセンター運営事業	//
3	学童保育室管理運営事業	//
4	公立保育所管理運営事業	//
5	こども支援センター管理運営事業	//
6	認可保育所等児童委託事業	//
7	民間保育所等支援事業	//
8	母子保健事業	健康増進課
9	国際交流事業	学校教育課
10	小中学校教育用コンピュータ維持管理事業	//
11	みらいのぞみ学校創造支援事業	//
12	コミュニティスクール推進体制構築事業	//
13	教育相談員・教育支援室運営事業	//

14	就学支援事業	//
15	小学校 ICT 機器維持管理事業	//
16	中学校 ICT 機器維持管理事業	//
17	家庭教育・子育て支援事業	社会教育課
18	図書館の普及活動事業	図書館
19	図書館資料整備事業	//

評価日	第6回（令和5年10月17日）・第7回（令和5年11月7日）						
評価結果	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	総合評価
	C	D	B	C	C	C	C

外部評価委員会での主な意見

【達成状況に対する意見】

- 個々の事業の進捗、成果指標の達成状況については概ね順調と判断する。
- しかし、プロジェクトがあまりに幅広く多岐に渡っており、設定された指標からプロジェクト全体としての達成状況の評価をすることが難しいため、総括評価はCとする。

【プロジェクト全体への意見】

- 子育て支援の幅が広すぎて、一緒に評価することは難しい。分野ごとの切り分けを検討したり、一緒にするのであれば、共通の目指す姿からの広がりを考えるべき。
- 子どもに期待することが多い印象を受けた。町や親が望む、“子どもにこうなってほしい”というより、子どもが望む“こうなりたい”という視点で考えてほしい。
- 国や県の事業と町独自の事業がわかりにくく、町として力を入れているところ、特色等をもっと前面に出さないと評価は難しい。
- “安心して～できる環境”の「安心」または「不安」がどのようなものなのか整理をすることが重要。

【構成事業に対する意見】

（家庭教育・子育て支援事業）

- しっかりした家庭が前提の事業になっており、問題のある部分と事業が結びついていない。
- PTAが主体となっているが、PTAの在り方が変わってきており、代わりとなる組織の検討が必要だと感じる。
- 小1プログラムの解消まで踏み込んでもらえるとなお良い。母親の就労問題、幼保に通っていない子へのサポートや親への情報提供等、検討してほしい。

（国際交流事業）

- 国際交流によって得られる「国際化」(internationalization)と地球単位での取り組み・価値観を目指す「グローバル化」(globalization)を整理し、国際化の到達点(段階的、ゆっくりでよい)を示す成果・指標も考えたほうが良い。
- 海外派遣等、費用負担があるものについて、公平性を考えて、誰にでもチャンスがあるよう検討してほしい。

（民間保育所等支援事業）

- 働く人の環境や待遇の改善がこどもへ返ると思うので、検討してほしい。

(ファミリーサポートセンター運営事業)

- 提供会員の選考方法に不安がある。リスクを考慮しての対応を検討してほしい。
- 必要としている方に十分に活用されていないと感じるので、利用方法やシステムの周知、啓発について検討し推進してほしい。

#### 4 事業改善検討委員会結果

##### (1) 事業改善検討委員会の概要

###### ① 事業改善検討委員会について

事業改善検討委員会とは、内部評価及び外部評価の実施結果に基づき、対象事業の今後の方向性について検討をする委員会である。今年度は、5つの重点プロジェクトの評価結果について結果の共有、審議を実施した。

###### ② 事業改善検討委員会の構成

副町長、教育長、外部評価委員会委員長の3名で構成した。【三芳町行政評価実施要綱 第13条】

【図表 13 事業改善検討委員会委員】

役職	氏名	委員区分	備考
委員長	大野 佐知夫	副町長	
副委員長	古川 慶子	教育長	
委員	石川 久	外部評価委員会 委員長	元・淑徳大学 コミュニティ政策学部 コミュニティ政策学科教授

###### ③ 事業改善検討委員会の所掌事務

職員による「内部評価」と外部評価委員会による「外部評価」の結果に基づき、対象事業について、見直しや拡充、縮小など総合的な評価を実施する。また、評価制度全般について、意見や助言をすることも所掌事務となっている。

【三芳町行政評価実施要綱第12条】

###### ④ 委員会日程

今年度は全1回の委員会を開催した。各回の概要は図表14のとおりである。

【図表 14 事業改善検討委員会実施日程】

	開催日	審議内容
第1回	令和6年3月13日(水)	・重点プロジェクトの結果について ・評価制度全般についての意見・助言

## ⑤ 評価の流れ

外部評価委員会での各プロジェクト評価の結果について審議を実施した。

## (2) 評価結果

### ①各重点プロジェクト評価への審議結果について

各プロジェクトへの意見は図表 15 のとおりである。

【図表 15 事業改善検討委員会結果一覧（評価順）】

1	行財政基盤強化プロジェクト
評価コメントと今後の取り組みへの留意点	
・指標について、現状の指標では財政面ばかりの評価になりかねず、外部の影響も受けてしまっているため、行政改革の成果などを指標して入れるなど、改善すべき。	
2	西の玄関口プロジェクト
評価コメントと今後の取り組みへの留意点	
・まず安全対策と渋滞対策、そして利便性が第一であるが、今後は地域活性化という観点からもやっていく必要がある。そのため、現状の指標だと道路環境の指標しかないため、指標を見直す必要がある。	
・安全や渋滞対策は、指摘の通り不十分なので、引き続き対策を進める。	
3	緑の活用・保全プロジェクト
評価コメントと今後の取り組みへの留意点	
・今後は、みよしフォレストシティ構想に引き継がれ、フォレストの進捗に関する評価に切り替えて推進していく。世界農業遺産やガーデンツーリズムの認定を活用し、進めていく必要がある。	
4	健康長寿プロジェクト
評価コメントと今後の取り組みへの留意点	
・健康長寿が町の財政のためという考えではおかしく、住民の健康第一が大切である。6次総合計画では、ウェルビーイングがメインで、肉体的だけでなく精神的な部分の健康も強調していく。	
・医療体制や食育など様々な事業がうまく結びついていないため、全体が見える形でやっていくべき。	
・データについては、指標が4年に1度の住民意識調査だけにならないよう、各課のアンケート調査を取りまとめてほしい。また、データヘルス計画で取ったデータなどもうまく結びつけて、細かいデータも活用できるよう取り組んでほしい。	

5	子育て支援プロジェクト
評価コメントと今後の取り組みへの留意点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PTA については、難しい状況になってきており課題であると考えている。</li> <li>・ 不登校を問題行動と捉えない考えになってきており、社会的自立を促すという中で、不登校率等の指標が適切かどうかの検討が必要。</li> <li>・ こどもの権利条例の制定やユニセフ認定に向けて、来年度から取り組む。こどもの視点でこどもの幸せを願っていくという方針に関しては、次の総合計画に入っている。</li> <li>・ 家庭教育が、リスクのある家庭に結びついていない点について、子ども支援課が密着した形で支援しているということもあるので、そこは強化していく。</li> <li>・ 6次総合計画では、こどもの幸せプロジェクトに引き継いで推進していく。</li> </ul>	

## 5 令和6年度以降の行政評価制度実施指針

### (1) 改善意見聴取の方法

第8回外部評価委員会において行政評価制度の翌年度以降の方針を示し、意見を聴取した。

### (2) 改善意見のまとめ

上記のとおり意見を聴取したところ、以下のような意見が提起された。

#### ①細やかなフィードバック及びスケジュール管理の実施

外部評価委員会での担当課への意見について、その後の対応や方向性の報告が翌年度となっている。翌年度にまとめて報告という形ではなく、都度、細やかに報告すること。

また、当初に示したスケジュールに変更がある場合は速やかに報告するなど、スケジュールの細やかな管理を徹底すること。

#### ②関連事務事業の関係図の作成

現在の行政評価の実施方法が事業別予算をベースとした評価になっているため、事業の全体像が見えづらい。該当事務事業と関連事業との関係図を作成することで、全体を見える化し、該当事業の立ち位置を明確にすることが、効率的な評価の実施に繋がる。

#### ③外部評価対象事業の選定における、外部評価委員の意見聴取

現在は、外部評価に諮る事業について、内部評価の結果を基に、基準に該当する事業を選定している。そのため、数年ごとに同じ事業が選定される傾向にあり、数年、外部評価の対象となっていない事業も出てきている。基準の該当事業だけでなく、事業の一覧を示し、外部評価委員による事業の選定方法の検討、または意見聴取を実施してほしい。

#### ④指標となる目標設定の期間の統一

現在、各事務事業について、担当課が設定する目標の期間が統一されていない。単年度の目標値である場合と、累積の目標値となっている場合があるため、期間は統一した方がよい。特に、令和6年度は第6次総合計画に切り替わるタイミングであるため、計画期間内の目標設定に注意してほしい。

### (3) 来年度の外部評価の方向性

上記の意見も踏まえ、来年度の外部評価の方向性について検討していく。

#### ①令和6年度内部評価の実施

第5次総合計画の実施計画として進捗管理にも活用するため、令和5年度と同様、総合計画に関わる事業(一般会計・特別会計・公営企業会計)はすべて事務事業評価シートを作成する。評価基準点数表は、法定受託事務(政策的判断の余地の少ない又は裁量の余地がないものに限る)、基本的な事務に関する事業等を除いた事業を対象としてきたが、対象事業は再度精査し、法定受託事務や管理整備系の事業であっても外部の意見によって改善の余地があると判断される事業は対象とする。

#### ②令和6年度外部評価の実施

外部評価は、行政運営を専門家を含む住民目線で見ること、より効率的・質の高い手法に改善し、成果を重視した行政運営を推進し、より良いまちづくりを行うことを主眼とする。

令和6年度は、令和5年度の事務事業の外部評価を実施するが、令和5年度が第5次総合計画の最終年度であることから、評価対象とする事務事業については、選定方法等について検討する必要がある。選定における外部評価委員会の意見の聴取を実施するなどして、最終年度の総括となるよう努める。

#### ③施策評価の実施に向けた準備

令和6年度は、上記の事務事業の外部評価と並行して、かねてより事業の全体像が把握しづらい事が課題であった事務事業ごとの評価から、施策単位での評価へ移行(令和7年度)するための準備を実施する。第6次総合計画の施策について、外部評価委員会において事務事業評価シートの各担当課が設定した目標を基に、施策ごとの指標の設定を行う。各施策の進捗管理をスムーズに実施し、行政評価制度の機能を効果的に発揮できるよう、指標の設定をしっかりと実施しておくことが重要である。

#### ④令和6年度の行政評価制度のスケジュールリング

【図表16 令和6年度の行政評価制度のスケジュールリング(予定)】

	外部評価委員会	事務局	担当課
4月		職員向け説明会 目標項目設定説明会	内部評価の実施 評価シート作成・提出
5月		評価シート確認・調整	(指摘事項の修正)
6月	評価概要説明		
7月	外部評価及び 指標設定の実施 (4~5回)		
8月			
9月			
10月			
11月	評価総括等		
12月以降	次年度に向けた意見 聴取	事業改善検討委員会 町長報告・方向性確定	予算編成への反映

#### ⑤目的・目標項目の事業との整合性確保

目標項目の設定が曖昧な事業が依然として多くある現状から、標記説明会を評価シート作成前に実施する。総務省行政評価局での「政策評価に関する統一研修」における資料などを用いながら、担当が実施する。また、評価シート提出後に空欄、抜けがないかをチェックする。

定性的な目標項目の設定については、説明会にて担当課に周知し、行革ヒアリングにおいても目標項目の修正が必要な場合は依頼を行う。また、目標設定の期間の統一について事務局の方針を決定し、特に第6次総合計画の初年度である令和6年度目標からの設定に注意する。

#### ⑥内部評価の根拠(上位計画・根拠法令・データ等)と関係図について

担当者と事前協議を行い、内部評価の根拠となる法令やデータ等、必要な資料を確認する。また、令和6年度は施策評価移行前の事務事業評価の実施となるため、関連事務事業との関係について関係図を準備するなどして、審議のスムーズな進行を図る。

## 6 まとめ

令和5年度は、第5次総合計画の最終年度であったため、外部評価では事務事業評価ではなく、総括として重点プロジェクトの評価を実施したが、事業全体を見ることで進捗状況が把握でき、第6次総合計画に繋がる課題や改善点を把握することができた。また、令和7年度より実施予定の施策評価へ繋げるためのトライアル的な意味もあったが、結果、様々な課題が露呈した形となった。そのため、令和7年度からの本格的な施策評価に向けて、令和6

年度にやるべき事の整理ができたという点でも成果であった。

行政評価制度も毎年、外部評価委員会での意見をもとに改善してきたが、未だ様々な課題が残っている状況である。特に、評価の基礎となる事務事業評価シートについては、目標項目の設定が事業目的を達成するための設定になっていない事業が散見され、評価の正確性に影響があると考えられる。令和6年度は、施策評価のための指標設定として、各事務事業の目標設定が特に重要な項目となるため、事務事業評価シートの作成においては、各課室が理解を深めた上で、事業目的に対応した目標項目が設定できるよう引き続きフォローが必要である。

行政評価制度の効果を最大限活用するためにも、引き続き改善を進め、PDCA サイクルの機能向上に努めたい。